

(井上大輔 803-0814 北九州市小倉北区大手町
2-12 三宅モータース(株) 2 F 北九州・魚部)
(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地
石川県ふれあい昆虫館)

【短報】石川県におけるチビドロムシ科とナガドロムシ科の採集記録

石川県では、チビドロムシ科はチビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane, ナガドロムシ科はタテスジナガドロムシ *Heterocerus fenestratus* Thunberg, トゲジナガドロムシ *H. tokejii* Nomura の2科3種が記録されている(石川県, 1998)。

筆者は石川県初記録となるオオメホソチビドロムシおよびタマガワナガドロムシを採集しているので、県内で採集しているチビドロムシ科とナガドロムシ科の追加記録と併せて報告する。同定は Satô (1966), 林 (2012), 伊藤・前原 (2017) を参考にした。

チビドロムシ科 *Limnichidae*

チビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane

1ex., 川北町字朝日 手取川, 8. IV. 2016 ;
2exs., 白山市桑島 手取湖, 10. IX. 2016 (図1)。



図1. 石川県産チビドロムシ。



図2-3. 石川県初記録となる2種。2, オオメホソチビドロムシ; 3, タマガワナガドロムシ。

水際の陸上部から得られた。手取湖においては、水際の土や石の上、その隙間などから多数が確認された。伊藤・前原 (2017) では、本土から記録されたリュウキュウダエンチビドロムシ *Pelochares ryukyuensis* Satô の中に本種として記録されたものが含まれている可能性が示唆されており、従来の記録の再調査の必要性を指摘している。今回採集された個体は Satô (1966) や伊藤・前原 (2017) において図示された触角や雄交尾器等と比較し、チビドロムシとして同定されたものである。

オオメホソチビドロムシ *Cephalobyrrhus japonicus*
Champion

1ex., 小松市丸山町大日川, 4. VII. 2015 (図2)。

ナガドロムシ科 *Heteroceridae*

タテスジナガドロムシ *Heterocerus fenestratus*
Thunberg

1ex., 能登町天坂 外灯, 13. VI. 2016,

タマガワナガドロムシ *Heterocerus japonicus* Kôno
6exs., 川北町字朝日 手取川, 8. IV. 2016 (図3)。

手取川のワンド内の水底(泥質)をかき回し、浮いてきた個体を採集した。

引用文献

- 林 成多, 2012. 山陰のチビドロムシとナガドロムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15): 11-18.
石川県, 1998. 石川県の昆虫. 537pp. 石川県環境安全部自然保護課.
伊藤 淳・前原和雄, 2017. 本州のリュウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ. さやばねニューシリーズ, (28): 36-37.
Satô, M., 1966. The Limnichid-beetles of Japan. Trans. Shikoku Ent. Soc., 9 (2): 55-62.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地
石川県ふれあい昆虫館)